



薬師如来を本尊とする甲山寺



■弘田町1765-1
 ●JR善通寺駅から車で約10分
 ●納経／7:00～17:00
 ●駐車場／あり
 ●問い合わせ／☎ 0877-63-0074

まんのう 満濃池の修築により 建てられた寺

総本山善通寺から弘田川沿いに北へ向かうと甲山寺に着きます。医王山多宝院甲山寺は四国八十八箇所霊場第74番札所で、真言宗善通寺派の所属寺院にあたります。本尊に薬師如来、洞穴に毘沙門天がまつられています。

西讃府志によると、弘法大師空海が満濃池を修築した功績で朝廷から賜った報奨金の一部を充ててこの寺を建て、空海自ら本尊を刻んでまつりました。寺の伝えによれば、満濃池修築以前に、空海が曼荼羅寺と善通寺の間に寺を建てたいと場所を探していると、甲山の麓の岩穴から翁が現れ、この地

に寺を建てるように告げました。空海は感激して毘沙門天の石像を刻み、岩穴にまつたといわれています。

残念ながら当初の寺は天正年間に全焼し、その後、元禄(1688～1704)年間から復興・再建をくり返してきました。

ご本尊の薬師如来の脇侍である月光菩薩は左手に月を持ち、その中にウサギが描かれています。それにちなみ、境内には大門と中門、茶堂の瓦の上などに16匹のウサギが愛らしい姿を見せてています。江戸時代末期に造られた山門の屋根からもウサギがのぞき、ウサギにちなんだお守りやおみくじもあります。今では、ウサギ寺としても知られる甲山寺です。



参拝者に親しまれているウサギ